

# 担い手支援拡充

## J Aグループ山形 センター設置

【山形】J Aグループ山形は10月1日、J A山形中央会農業農政部に地域・担い手サポートセンターを設置する。14日のJ A山形中央会理事会で決めた。各J Aの地域・担い手支援を県域組織を挙げて後方で支援し、J Aからの要請に応じて補完するのが狙いだ。

担い手育成は、2015年度を目標とするJ Aグループ山形長期農業振興戦略の重要な柱の一つ。11月の第27回J A県

大会や今後策定する次期戦略も見据え、実践と目標実現には、県域組織の連携強化が不可欠とし、組織横断的なセンターを立ち上げることにした。

主に営農関連業務を含めた地域・担い手支援を一体的に手掛け、J Aの支援・補完業務を担う。具体的には、担い手支援に関するJ Aの方針や

要員確保、配置計画の策定支援、営農指導員資格認定制度見直しを踏まえた研修体系の整備など、J Aの地域・担い手支援機能強化と経営サポート強化、就農・定着に向けた支援・補完に取り組む。中央会とJ A全農山形、J A共済連山形、農林中金山形支店の出向職員ら9人で構成する。